

『自他を認め合い、あたたかく人に関わろう
～広げよう 支え合いの輪～』 藤枝市立岡部中学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	学級開き 1年生を迎える会 学級会（自慢できるクラスを目指して） 結団式	・学級活動や総合的な学習、学級会の時間を活用し、ピア・サポートのスキルアップを目指す。	・本校におけるピア・サポートの共通理解 ・ピア・サポートとは
5月	テスト計画作成アドバイス 団別校歌練習会 各学年行事	・団別活動での交流を通じて、異年齢集団と関わりをもつ。	
6月	中体連志太榛原大会 生徒会本部役員選挙		
7月	縦割り活動（ダンス）	・3年生が主体となって練習を進める。	三校合同研修会 非認知能力の育成
8月		・1学期から段階を踏んで、内容を「自己理解」から「他者理解」に進化させていく。	
9月	学級会（行事）に向けて 縦割り活動（合唱）交歓合唱	・学級の様子を振り返り、自慢できる学級にするための話し合いをする。	
10月	音楽発表会 縦割り活動（体育大会） 体育大会	・3年生が主体となって練習を進める。	
11月	生徒大会 馥郁発表会（3年生）	・各専門委員会の活動に、ピア・サポートの視点を入れた活動を取り入れる。	
12月	地域貢献活動（2年生）		
1月	ピア・サポート集会 学級会	・全校でピア・サポートについて理解し、レクを通して、仲間との関わりをつくる。	
2月	1，2年生合唱練習	・3年生のために、学年で団結して練習を行う。	
3月	3年生を送る会 卒業式	・3年生が気持ちよく卒業できるように活動する。	・次年度に向けての振り返り

1 本校のピア・サポート

本校では、行事ごとにピア・サポートを行うような特別な活動ではなく、日々の学校生活の様々な場面での仲間との関わりにおいて、思いやりの気持ちを広げていきたいと考えている。

昨年度に引き続き、岡部地区3校（岡部小学校・朝比奈第一小学校・岡部中学校）では、「3にも（自分にも・相手にも・みんなにも）」を意識した活動に取り組んでいる。活動を通して、生徒一人一人が自己理解、他者理解を深め、自分や相手の良さを知り、人と関わることの楽しさや大切さを理解させたいと考えている。

2 本年度の取組

（1）授業において

藤枝市教育基本計画に掲げる5つの考え方（自己決定、相手との関わり、存在感、人間的ふれあい、発達の可能性）に加えて、4つの視点（着席・挨拶、確実な準備、温かく聴く、進んで活動）を意識した授業に取り組んでいる。校内研修でも5つの考え方で生徒の表れを見取り、教員の手立てによって、どんな姿があったのかを教員全員で話し合っている。

また、授業後の授業評価では、5つの考え方で特に輝いていた人が誰かを生徒に考えさせ、授業 MVP を決める活動を取り入れることで、生徒たちが仲間の授業での良い表れを称揚し、授業意欲が高まるような機会を設定している。

（2）特徴的な活動

◇音楽発表会・体育大会〈提言1・6〉

音楽発表会練習では、団の3年生と交歓合唱を行った。3年生の合唱を聴き、アドバイスをもたらったことで、自分の学級の課題を知る機会となった。体育大会練習では、3年生を中心に計画を立て、下級生をまとめ練習を行った。大会当日は、学年を越えて声を掛け合ったり、応援したりする姿が見られた。

◇ボランティア（ちょボラ）・地域貢献活動〈提言7・8〉

本校では、学校重点目標の一つである「貢献」を具体化するために、校内外含めてボランティア活動を推奨している。生徒は地域のイベントである「にぎわい祭り」や「読み聞かせボランティア」などに参加し、地域の方と関わることで、自分が地域の一員であるという自覚をもつとともに、地域のために行動しているという実感をもつ生徒が増えた。また、集会の際の椅子並べや片付けなど学校内のちょっとしたボランティア（ちょボラ）に積極的に参加する生徒が増えてきている。

地域貢献活動では、地域の清掃活動やみかん狩りの手伝いなどを総合の時間で行った。住んでいる地域や地域の方々への感謝の気持ち込めて活動を行った。改めて地域の良さを知った。

◇学級会〈提言6〉

学期に1回学級会を行った。学級会の前には、プログラム委員会を開き、学級の班長や学級委員が学級の成長しているところ、改善が必要なところなどを話し合い、議題を設定した。会の中では「3にも」の視点を入れ、みんなでより良い学級会ができるように、「全員が意見を言える雰囲気をつくる」、「仲間の発表をしっかりと聴く」といった目標を決めている。話し合いでは、学級をより良くするために全員が意見を出し、その発表を温かく聴いて目標を決める姿が見られた。

3 本年度の成果と来年度に向けて

今年度も「3にも」をキーワードに取り組んできたことで、昨年度よりも浸透してきたと感じた。より浸透させるためには、どんな行動が「3にも」なのか、実際に生徒が「3にも」を意識している様子や生徒の活動の様子を価値づけし、「これが3にもなんだ」と思ってもらえる機会を増やすことが必要だと考えている。

また、岡部地区3校が「3にも」を意識して活動を行っているため、小学校、中学校の連携をさらに強化し、小学校、中学校で共通の活動を行ったり、お互いにどんな活動をしているのかを報告し合ったりする場面も設けていきたい。